
煌めく笑顔が堪える狂気

HIRO.T

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

煌めく笑顔が堪える狂気

【Nコード】

N5145E

【作者名】

H I R O ・ T

【あらすじ】

その人はいつも笑みを浮かべていた。それは何故？

その人はいつも満面の笑みを浮かべていた。
なんて素敵な人だろう。

いつも笑顔でいられる秘訣は？

問いかければ「これが素なのです」と穏やかな口調で返される――
笑みと共に。

そうは言っても喜怒哀楽、生きていれば色々な感情を覚えるはずだ。

人生良いことばかりではない。

そう考えて折に触れその人の様子を伺っていたが、笑みは絶えることがなかった。

そしてそれが逆に不気味に思えてきた。

私だけでなく、周りの人も。

怒りも悲しみも憤りも愚痴すらもない人生があり得るのかと疑念を抱き、一步、一步と退き始める。

それは当然とも言えたが、その人には理解出来ないようだった。

笑顔は病知らず。

笑う門には福来たる。

そんな風に言われるでしょう？

それなのに笑う自分を敬遠するのはどうして？

その問いに答えられない。

気味が悪い……とは言えないからだ。

距離を保って、けれど何故という興味から遠離ることもせず、その人を誰もが見ていた。
相変わらずの笑顔。
穏やかな口調。

だがある日突然その人は私たちの目の前で倒れた。
駆け寄って救急車を呼ぶ。
けれど来なかった。

来たのは黒ずくめの男たちと白衣の女と男たち。

病気だったのかしら？

遠目に見ながらヒソヒソと話す。
と、

「皆様、お騒がせして申し訳ありませんでした」

白衣の女がぐるりと周囲を見渡してからそう口にした。

「異常作動したようです」

（異常作動？）

確認しても構いませんと女が付け加えれば、輪を縮めるように一斉にそろそろと歩み寄る。

倒れたその人の胸が開いていた。

そう、扉を開けるように。

「表情筋の固定。微笑プログラムのループ。それにより負荷が長期間かかり、感情プログラムが異常作動したようです」

ロボット……！？

にわかには信じられなかった。

けれど倒れた今も微笑を保ったままのその人の胸の中は、赤くなり熱を持っているようだった。

心の内に激しい怒りが渦巻いているように思えた。

プログラムの異常は、狂気を孕ませていたのかもしれない。

(後書き)

UW様(http://pokopkopen.ikaduchi.com/)のお題『堕天したあなたへ5のお題』の一つ目です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5145e/>

煌めく笑顔が堪える狂気

2011年1月12日22時16分発行